

3人4脚



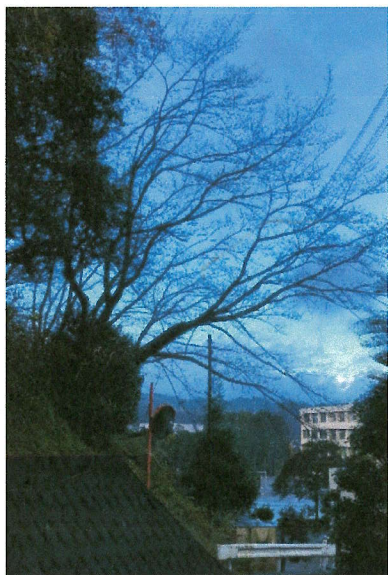
R3. 12/3(金) 第9号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

早くも「師走」に突入…桜の木から学ぶ

～寒さ厳しい冬があるからこそ、桜は春にきれいな花を咲かせます。～

師走となり2学期も残すところあとわずかとなりました。カレンダーも残りがあると1枚となっていました。この2学期、秋麗祭等の行事、日々の学習活動や部活動で各学年・学級が互いに認め合い、高め合い、支え合いながらチーム力を高め、そして絆を深めてきました。

3年生にとってはよいよ進路決定が目の前にせまっています。今まで培ってきた知力、体力、精神力をさらに鍛え、「チーム3年生」として全力で取り組んでほしいものです。一方、1・2年生はそれぞれの進級を目指して自分の目標を確認し、黙々と自分を鍛え、力をつけていくことを期待しています。



さて、本校の西門付近に、毎年美しい花を咲かせてくれる大きな桜(ソメイヨシノ)の木があります。今は落葉し、その姿は人々を魅了するものではありません。そんな冬の桜は今何をしているのでしょうか。ただ早く暖かい春になってほしいと待っているだけなのでしょうか。そんなことはありません。桜は今、あの素晴らしい満開の花を咲かせるための準備をしています。誰も見ていなくとも、強風に耐え、雨や雪にも負けず、しっかりと根を伸ばし、土から水分や養分を吸い上げながら地力をつけているのです。

寒さ厳しい冬があるからこそ、桜は春にきれいな花を咲かせます。生徒の皆さん、自分を成長させるためには目標を決め、その達成のために努力することが必要です。その努力は北風のように冷たく、辛いことになるかもしれませんが、でもそれがあからこそきれいな花が咲くのです。

この冬休みは新しい年に向けて、決意を固める絶好の機会です。ご家庭でも、お子さんの1年間の成長を振り返るとともに、将来の夢や目標を話し合っただけければ幸いです。保護者の皆様、地域の皆様、今年もあとわずかとなりました。来年も引き続き二宮西中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みこそ“読書の勧め”…ぜひ読書の時間の設定を！



間もなく楽しい冬休み。今年の冬休みは祝日の関係で12月25日から1月10日までの17日間となり、例年になく長期間になります。3年生は受験勉強、1・2年生は部活動なども予定されていますが、年末年始など自由に使える時間も少なくないことでしょう。そんな時、読書はいかがでしょうか。本を読むことは、テレビを見たり音楽を聴いたりするよりも、より積極的に頭脳を働かせる行為です。

一冊の本との出会いが、将来の生き方の指針になることもあります。好きな本はそのページをめくる度に、知識の海に船をこぎ出すような

ワクワク感を覚えます。17日間の冬休みの予定の中に、ぜひ読書の時間を設定してみてください。なお、本校の図書室では生徒のみなさんが冬休み期間に本が読めるように、12月21日(火)まで本の貸し出しを行っています。

明日からの1週間は人権週間です！

～「かけがえのない命・思いやりの心」等について、今一度考えていただけたらありがたいです。～

1948年12月10日の国際連合第3回総会において、世界人権宣言が採択されたことを記念して、1949年に法務省と全国人権擁護委員連合会が12月10日を最終日とする1週間(12月4日～12月10日)を人権週間と定めました。

人権とは、「人間が人間らしく生きる権利、生まれながらに持っている権利」です。人権をもう少し分かりやすく説明するとしたらどうなるのでしょうか。私は、「一人ひとりに必ずあり、すべての人が幸せになれる権利」あるいは「すべての人がかけがえのない人間として、安心して暮らせる権利」と言うことができますと思います。

「人権を大切にする」、「人権を守る」ということを日頃から考えていないと、つい他人の人権を傷つけてしまうということが起こるのではないのでしょうか。人権週間の機会に「かけがえのない命・思いやりの心」等について、さらに深く考えていただけたらありがたいです。

それでは、人権を大切にするためにはどうしたらよいのでしょうか？まずは自分を大切に思うこと、そしてその努力をすること、それが人権を大切にする基本ではないでしょうか。「二宮西中学校に通う一人の中学生であるかけがえのない自分」を大切に思う。そうすることで「二宮西中学校に通う同じクラスの仲間」、さらには「二宮西中学校に関わるすべての人たち」、そして「この社会に関わるすべての人たち」を大切に出来るのではないのでしょうか。

◇自分を大切に思う気持ちを育てよう

自分を大切に思う気持ちを育てる方法として、次のことを考えてみました。

- 挨拶はこちらから積極的に心を込めて言う。
- 「ありがとう」などの感謝の言葉を積極的に人にかける。
- 小さな目標をたてて、クリアしたら自分にごほうびをあげる。
- 感動を口に出して言う。
- 寝る前に今日一日、自分ががんばったことを確認する。
- 仲間の良いところを見つけてほめる。一方、誰かにほめてもらう。
- 鏡をみてニコッとほほえむ。



何といっても大切なのは、自分のまわりには自分を見守ってくれている人たちが多く存在することを再確認することです。・・・家族や親戚の人、近所の人、友人や仲間、先生方、先輩や後輩たち。自分のまわりには実に多くの人たちがいること、そしてその方々に支えられて生きているということを考えてみるのが大切です。



「やさしさの言葉」
清水英雄

ありがたうは
相手の存在を
十分に認める言葉

ありがたうは
相手の親切を
かみしめる言葉

ありがたうは
相手のほほえみの
プレゼントを
受ける言葉

ありがたうは
相手の誠意を
引き出す言葉

ありがたうは
相手の立場を思いやる
やさしさの言葉